

# Julabo Case Study

## JULABO PRESTO® A40

20Lのガラス反応器で  
-20°Cから0°Cに加熱



### 目的

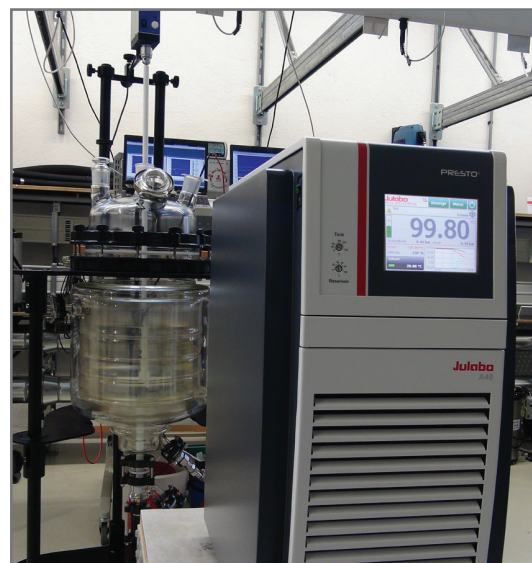
本ケーススタディーは、20Lの真空断熱ガラス反応器で、ユラボPRESTO A40の昇温運転テストをしました。A40と20Lのガラス反応器は2.0mのメタルチューブで接続されています。A40は-20°Cから0°Cへ昇温運転するようにプログラムされています。

### テスト条件

ユラボ装置	PRESTO A40
冷却能力	+20°C 1.2kW
	0°C 0.9kW
	-20°C 0.6kW
加熱能力	2.7kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.31bar
循環液	ユラボサーマルHL40
反応器	三重管の20Lガラス反応器 (Asahi)
	18LのサーマルHL40を充填
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御 (ICC)

### 環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz



### テスト結果

次ページグラフ参照: A40は若干オーバーシュートしましたが22分で-20°Cから0°Cへ昇温運転する事ができました。

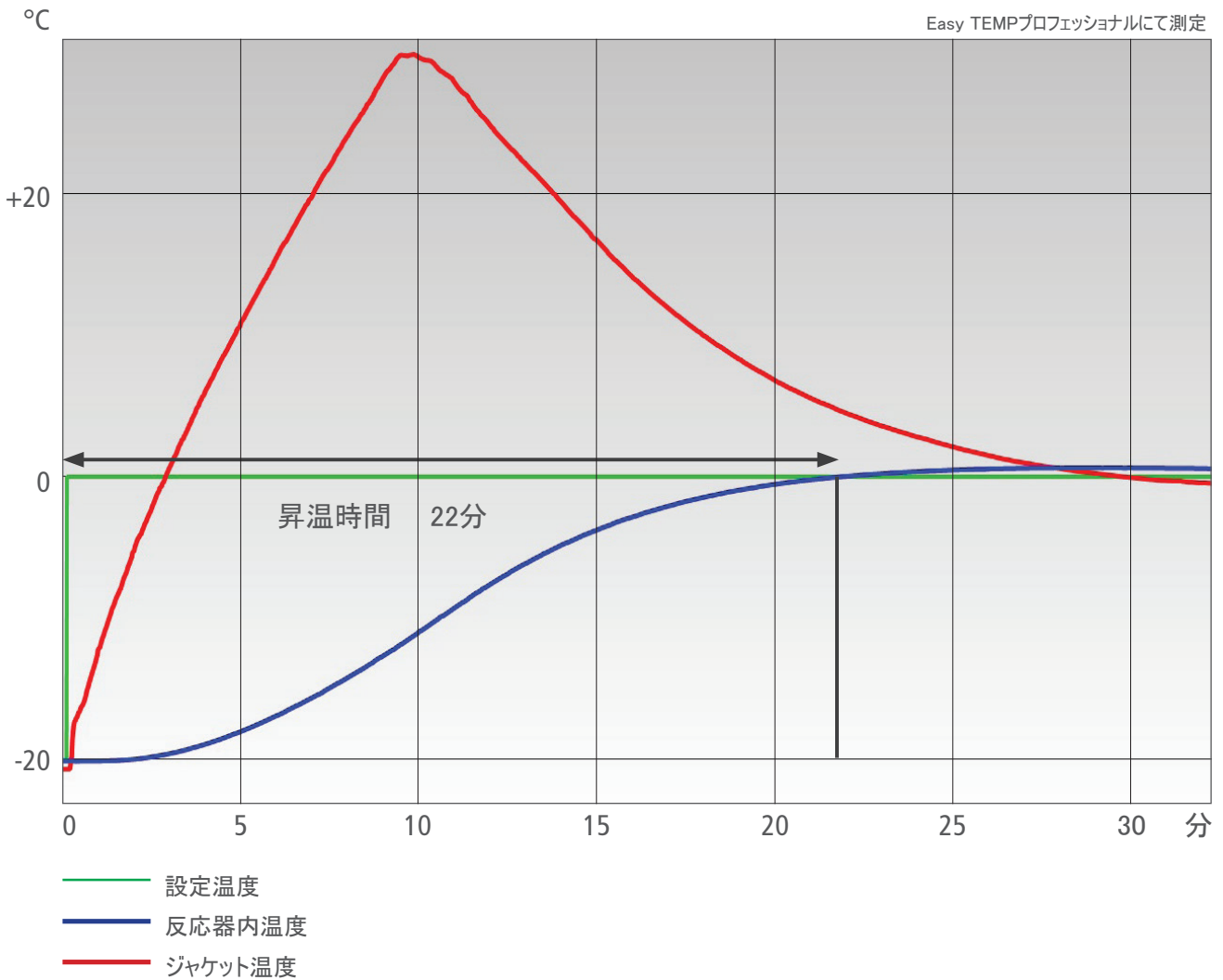
### 情報

PTFEコーティングされたPt100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。



JULABO GmbH  
Eisenbahnstraße 45  
77960 Seelbach / Germany  
Tel. +49 (0) 7823 51-0



**情報**  
 ポンプ圧力を調整する為のオプション画面があります。お客様にてポンプ圧力を設定する事が可能です。

**情報**  
 PRESTOの全ての機能をイーサーネットインターフェースにて操作する事が可能です。

JULABO GmbH  
 Eisenbahnstraße 45  
 77960 Seelbach / Germany  
 Tel. +49 (0) 7823 51-0